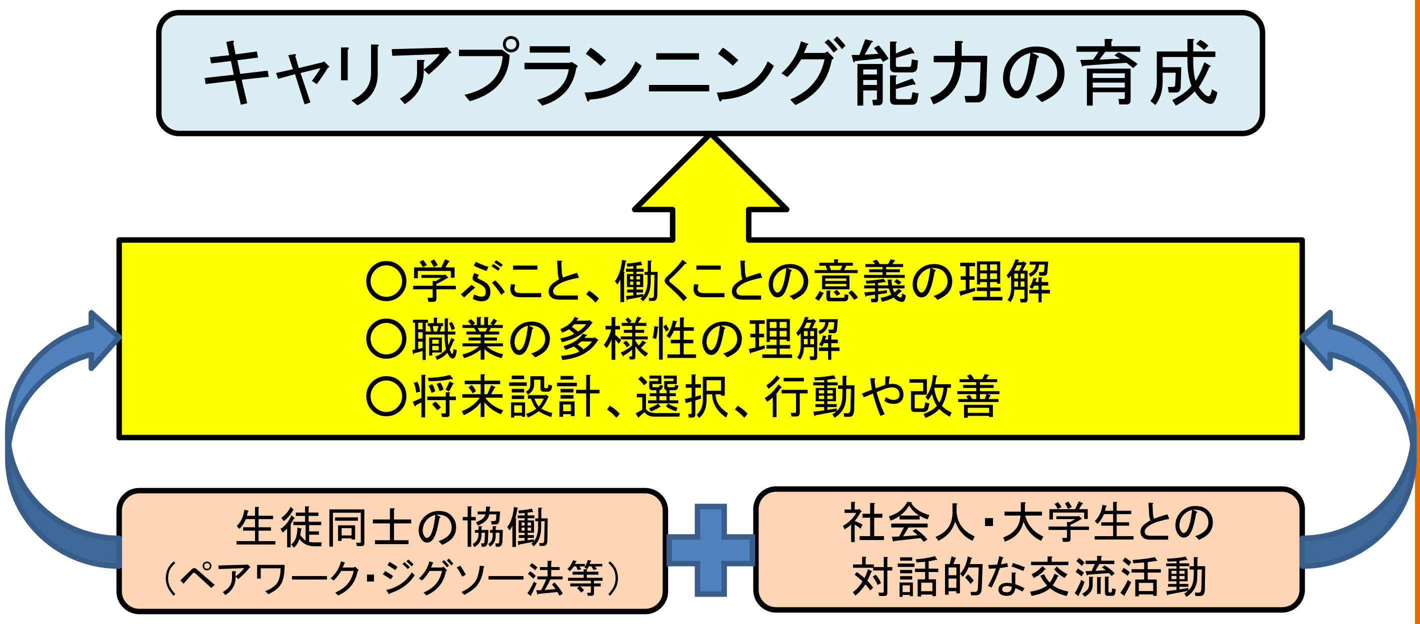
| | | | |
|---|---|---|---|
| 平成29年度 | 後期長期研修員 | 領域 | キャリア教育・進路指導 |

| | |
|---|---|
| テーマ | キャリアプランニング能力を高める指導の工夫 |
| サブテーマ | LHRにおける生徒同士の協働や社会人・大学生との対話的な交流活動を通して |
| 概要 | □ 学校全体の課題として進路決定率が低い<br>□ 学ぶ意味を見いだせないまま学校生活を過ごしている<br>□ 進路や将来について考えたり、行動したりすることができない<br>⇩ これらを解決するために<br>【手だて】LHRにおいて、生徒同士の協働や社会人・大学生との対話的な交流活動を通して、主体性や協働性をもって行動し、社会人や大学生から多種多様な生き方を学ぶことで、将来設計に必要なキャリアプランニング能力を高めることができるのではないかと考え、本研究を進めた。 |
| キーワード | キャリア教育、基礎的・汎用的能力、キャリアプランニング能力<br>対話的な学び、社会人・大学生との対話的な交流活動 |

## イメージ図




## 成果

- □ 社会人等との交流活動では、生徒が積極的に対話し、働くことの意義や職業の多様性の理解し、キャリアプラニング能力が高まった。
- □ 対話的な活動を中心に行った結果、生徒の主体性や協働性が伸び、キャリアプランニング能力だけでなく、課題対応能力も上昇することがわかった。